

関東大震災から100年 虐殺された中国人追悼活動に ご参加ください



9月3日(日)

■王希天さん追悼

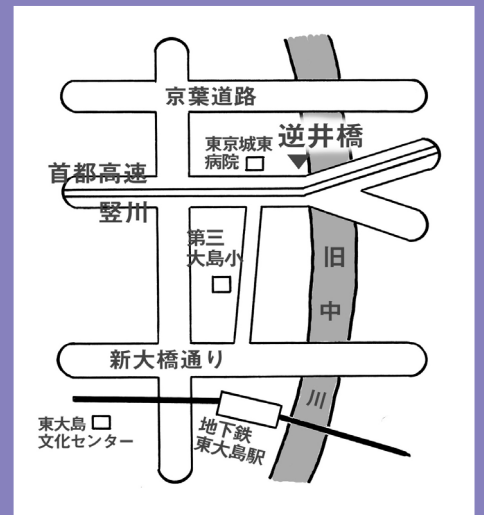
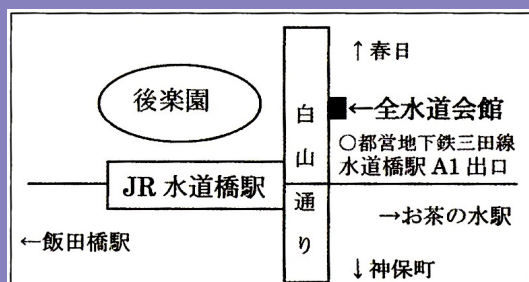
午前10時～11時／逆井橋

(地下鉄東大島駅下車北15分)

■中国人受難者追悼式

午後2時～4時／全水道会館4F

会場費500円



忘れない! いまこそ謝罪・賠償の実現を 虐殺から百年を迎える日本で 遺族とともに追悼を

9月3日(日) 午前・逆井橋、午後・追悼式にぜひご参加ください

1923年9月3日の江東区大島町一帯での中国人大量殺戮、軍による9月12日の王希天密殺。800名に近い中国人虐殺から100年となる9月に、王希天さんの遺族5名と浙江省温州の遺族18名が受難現地を訪ねます。午前10時から逆井橋のたもとで王希天さんを追悼し、午後2時から会場を水道橋の全水道会館に移して中国人受難者追悼式を開きます。

日本政府100年の隠ぺいを終わらせよう

2003年に日本弁護士連合会は内閣総理大臣(小泉純一郎)に対し、(1)国は関東大震災直後の朝鮮人、中国人に対する虐殺事件に関し、被害者、遺族に対し、その責任を認めて謝罪すべきである。(2)国は、朝鮮人、中国人虐殺の全貌と真相を調査し、その原因を明らかにすべきであるとする「勧告書」を提出しています。

本年5、6月には、参議院内閣委員会、法務委員会で百年を経た国会質問が繰り広げられました。6月15日の参議院法務委員会では、関東大震災で虐殺された中国人被害者に対して、「国家責任があり賠償するのが国際基準とする外務省文書」、「1924年当時の日本政府が賠償を閣議決定した経過を示す資料」の存在、「2014年温州遺族会が当時の安倍首相宛に出した要望書(謝罪、賠償等)」の受領を外務省は認めざるを得ませんでした。

「国家責任がある」「賠償決定をした」「遺族から要望書を受け取った」こうした文書があるのに、日本政府はそれを実現しないのでしょうか。百年の節目にあたり、遺族の皆さんと一緒に犠牲者を追悼し、日本政府に一世紀にわたりウヤムヤにしてきた虐殺の責任を認めさせ、謝罪、賠償するよう力をあわせましょう。

9月3日(日)の追悼活動にぜひご参加ください。

(写真は、2023年7月16日温州華蓋山での追悼式)

併せて、8月31日(木)の夜6時15分から文京シビックホール大ホールで行なわれる「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会」と、9月2日(土)夜7時から国会前で取り組まれるキャンドル行動にも参加くださるよう呼びかけます。



関東大震災時虐殺された中国人を追悼する集い実行委員会

F A X : 03-5624-6064 E mail : 91tsuitou@gmail.com

(追悼する会 <http://www.jca.apc.org/1923kantocanan>)